

若葉書院（ヤング・リーフ・ハウス）への道案内をいたします。

カーナビゲーション・システムを使う場合は、

住所「愛媛県四国中央市新宮町新瀬川中ノ川」を入力してください。

ただし、山間地では、地名が示すエリアが広大なため場所が特定できず、数 km も離れたまったく違う場所を目的地として設定してしまうこともあるため、過信は禁物です。

若葉書院は、高知自動車道の**新宮インターチェンジから約 4 km**の距離にあります。

新宮インターチェンジを降りたら、**左折**してください。

しばらく進むと、左手に**道の駅「霧の森」**の駐車場、川を挟んで右側に「霧の森」の施設があります。ここには、レストランやカフェ、温泉があります。名物「霧の森大福」は、売り切れることもあるので、行きがけに購入して、帰るときまで取り置いてもらうとよいでしょう。

「霧の森」駐車場入口付近に、「**志の道**」の石碑があります。

その数メートル先には、**第一碑（松下幸之助の言葉）**があります。

第一碑のところで、道は二手に分かれています。

左の道は、民家の間を抜けて第二碑へと。

道幅が広いのは、碑の右をそのままもう少し進む道です。

左右の道は、第四碑のところで合流します。

車が容易にすれ違うことのできる、碑の右側に続く道を行くとします。

100メートルくらい先の橋を渡って、「**新瀬川**」方面へ**左折**。

この場所には、「ヤング・リーフ・ハウスは左方向」の旨を記した案内板があります。

もう一つ橋を渡ったところの十字路に、**第四碑「自分の花を咲かせよう」**があります。

ここで、第一碑の左側から民家の間を抜けて、第二碑、第三碑を見ながら進んできた道と交差します。

ここからは、川を右手に上流へと遡る道です（上記のルートならば、十字路で右折）。

緩やかな上り坂の道に沿って、石碑が配置されています。

さて、**第十二碑「正しきものは強くあれ」**まで、辿り着きました。

ここまでの、若葉書院への道程の約半分です。

道は細くなりますが、さらに先へと進みます。

第十二碑のもう少し先には、鳥居があります——「**妙劔宮**」です。

細い道先へ先へ進むと、やがて、民家が数軒並んでいて「**程野**」の**バス停**がある集落へ着きます。

**川の方へ下る道**が、右斜め前方に見えてきます。

道が分かれる場所に、「霧の高原」の小さな案内板があります。

「若葉書院は右」を示すフクロウを描いた案内板もありますが、少々わかりづらいかもしれません。

また、その場所の左側には、石垣の上に「**偉大な仕事は……小野晋也**」の石碑があります。

川の方へ下る道を進んでください。

橋を渡ると、上り坂です。

ここまできると、若葉書院まであとわずか、**橋から300メートルくらい先**の場所です。

舗装されてはいるものの、道には土砂が散らばっているので、注意しながら運転してください。

道の舗装がとぎれたところが、若葉書院敷地への入口です。

「**新世紀の文明が……**」の石碑があります。

両側に草が生い茂ったスロープを下って、敷地内に駐車してください。